

第21回世界一桜島大根コンテスト開催

1月31日、天文館ベルク広場には、桜島島内をはじめ県内外の生産者や学校、幼稚園から自慢の桜島大根50点が出品されました。

会場には、出品された桜島大根が並べられ、総合部門、重量部門、学校部門、幼稚園・保育園部門の4つの部門に分けて審査員6人が行いました。

総合部門では、重量や全体の形状や色合い、美しさといった商品価値など総合的な評価を行い、重量24kg、胴回り125cmを出品したギネス記録を持つ、大野学さん(75歳)が優勝し、重量20.75kg、胴回り104cmで弟の勤さん(73歳)が準優勝に選ばれました。

また、重量部門でも、28.5kgで学さんが優勝し、ダブル受賞となりました。

学さんは「今年は負けないう強い思いで作り、100%満足できる桜島大根が出来た。来年は優勝よりギネス更新が目標。大きくて重い桜島大根を作り、自らのギネス記録31.1kgを上回る35kgの桜島大根作りに挑戦します」と意気込みを話していました。



大野 勤さん

大野 学さん

桜島だいこんフェア開催

1月30日と31日の2日間、鹿児島商工会議所主催で桜島だいこんフェアオープニングイベントが天文館ベルク広場で開かれ、旬を迎えている伝統野菜「桜島大根」のPR販売を行いました。

桜島大根は、血管をしなやかにする「トリゴネリン」が多く含まれている健康野菜であることから地元消費者に様々な形で紹介し、地元野菜の新たな魅力の再発見に繋がりたいと実施しました。

会場では、パネル展示やトークイベント、重量当てクイズのほか、当J.Aの桜島大根部会のブースも設けられ、カット販売や1本売り(葉付き)の桜島大根63本が展示販売されました。

ブースでは、J.A職員や生産農家が来場者に桜島大根の料理方法や保存方法などを伝え、多くの来場者が県外発送や家庭用に買い求めています。

県外発送と自宅用に5本の桜島大根を購入した女性は「イベントがあることを聞き買いに来ました。県外の友人が好きなので毎年送っています。購入した桜島大根はおでんやサラダ、豚骨料理に使います」と笑顔で話していました。

また、桜島だいこんフェアも1月30日から2月23日まで開催され、鹿児島県内の飲食店(92店舗)が参加し、オリジナルの桜島大根料理を提供しました。

